



3年目の新しい生活様式と熱中症対策

副校長 西川 雅行

「政府の要請による全国の一斉臨時休業」から、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための「新しい生活様式」が始まり、3年目となりました。学校においては、感染リスクの高い活動に注意しつつ、地域の感染状況に応じた感染症対策を徹底し、学校教育活動を継続してまいりました。具体的には、「3密（密閉・密集・密接）を避ける」、「人との間隔が十分とれない場合のマスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」など基本的な感染対策を継続するとともに、感染者を一人でも多く減らしていくため、地域の感染状況を踏まえ、学習内容や活動内容を工夫しながら可能な限り、授業や各種行事等の教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障してまいりました。

強い感染力をもつオミクロン株の影響が現れた今年1月頃から児童等の感染者数も大きく増加しました。感染経路は、「不明」が最も高い割合で、次いで「家庭内感染」が多くなっています。校内での感染拡大を防ぐために、何よりもウイルスを校内にもち込まないことが重要で、「毎朝の児童の健康観察」、「児童は勿論、家族に発熱などの症状がある場合に登校を控える」等、保護者の皆様にもご協力をいただいております。どんなに感染症対策を行っても、感染リスクをゼロにすることはできないので、感染確認された場合、迅速かつ的確に対処できるよう、教育委員会や区福祉保健センター等と連携し、保護者の皆様にもご理解とご協力をお願いして進めております。

これからの季節、気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなる恐れがあります。学校においては、昨年度に引き続き、別紙でお知らせしましたとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止を進めながら、熱中症対策にも取り組みます。気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い時には、「屋外で人と十分な距離を確保できる場合」には、マスクを外すよう指導します。その際、「会話を控えること」についても指導します。登下校時や地域で児童だけで過ごす場面もあります。ご家庭でも「どういう場面でマスクを外してよいか」お子さんが判断できるよう、具体的に話し合っただけのとよいかと思います。

今後も、持続的に児童の教育を受ける権利を保障していくため、学校における熱中症対策を取りつつ、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続してまいります。保護者、地域の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

5月の行事から

クラブ活動

今年度、初めてのクラブ活動を行いました。今年度は、子どもたちの希望で、16のクラブが成立しました。

1回目のクラブでは、5・6年生が中心となり、年間活動計画やクラブ全体のめあてや個人のめあてを立てたりしました。積極的に役割に立候補し、たくさんの意見を出す姿に、高学年らしい頼もしさを感じました。4年生にとっては初めてのクラブ活動でした。昨年度からずっと楽しみにしていたクラブに、緊張しながらもわくわくした様子で活動していました。

このクラブ活動を通して、4・5・6年生の交流が深まり、活動が充実していくことを願います。



引き取り訓練

5月11日（水）に災害時避難訓練及び、引き取り訓練を行いました。大規模な災害を想定して行った訓練でした。普段の避難訓練とは異なり、放送機器が使用できなかったり、けが人が出たりすることを想定して行いました。校内の安全確認が取れるまで室内で待機し、避難経路が確保されたことを確認してから校庭への避難を開始しました。お喋りすることなく落ち着いて避難し、引き取り訓練を終えることができました。本番が来てほしくない訓練ですが、万が一のときに備え、今後も災害時の避難訓練を重ねていきます。



ソーラン節伝達式（5・6年生）

6年生から5年生へのソーラン節の伝達式が行われました。ソーラン節の大まかな動きやコツを教えてもらいながら練習しました。当日は、5年生・6年生それぞれの魅力あふれる演技が見られると思います。迫力ある演技をぜひご覧ください。



運動会練習

6月4日（土）の運動会に向けて、どの学年も練習に励んでいます。

徒競走練習では、腕を大きく振りゴールまで走り抜ける姿が見られました。団体演技では、曲に合わせて体を大きく動かしたり、列や動きをそろえたりすることを意識しながら取り組みました。また、5、6年生は、高学年として運動会を支えるため、休み時間にも運動会の係活動や応援団練習にも力を入れていました。リレーの代表者は、放課後に集まりバトンパス練習に力を入れ、上達しています。

子どもたちは運動会の練習や準備を一生懸命頑張っています。子どもたちの活躍をぜひ楽しみにしててください。

1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

